

●京都府民総合交流プラザ

前回検証結果	継 続 ・施設の新たな利活用の取組や広報戦略の検討により、より幅広く効果的な利活用を図ること。 ・老朽化による施設改修も見据え、公的な負担の軽減の観点から、中長期的な戦略を検討すること。
対応・改善策実施状況、取組の成果	・若年層を含む従来の利用者層とは異なる府民の来館機会の創出を目的として、令和5年度から「LaLaマルシェ」をテルサホールにおいて年2回開催している。毎回1,000名以上の来場があるなど、新たな来館者層の獲得につながっている。 ・WEBを活用した新規顧客の獲得として、従来から実施しているSEO対策に加え、令和4年度から会議室予約ポータルサイト「会議室.com」へ広告を掲載し、年間約600件のホームページ流入を確保している。 ・令和2年度に策定した中長期修繕更新計画及び日常管理における設備の劣化状況を踏まえ、優先順位を整理したうえで、対応している。 ・突発的に発生した設備不具合についても、調整を図りながら対応しており、令和5年度には主要設備である空調設備の空冷ヒートポンプチャラーの更新を実施した。
なお残る課題・問題点	◆築30年が経過しており、建物・設備の老朽化が進行し、多額の修繕費用が必要
府民サービス等改革検討委員会による改善意見等	□大規模修繕に必要な財源を確保するために、利用料金設定を中長期的に検討する必要がある。 □府民の交流の促進、研修や文化、スポーツ等の事業実施の場としての機能を果たしており利用価値も高い。 □老朽化に伴う施設改修を計画的に実施する必要がある。
京都府の検証結果及び対応方向	継 続 ＜改善方策＞ ◎より一層利用価値を高めながら、老朽化による施設修繕も見据え、財源確保や計画修繕等の中長期的な戦略を検討すること。 ＜今後の対応＞ ○若年層向けイベントの誘致やWEBによる効果的な広報等により利用促進を図り、施設の利用価値向上と収入確保に努める。また、築30年を経過していることから、劣化状況調査を踏まえた計画的な修繕・更新を実施し、施設の長寿命化と財政負担の軽減を図る。あわせて、財源確保や計画修繕を含めた中長期的な施設運営戦略について検討していく。